

「新潟市の歴史・風土に根ざした住まい・住環境づくり」の事例

■住まいづくりの知恵 ～伝統的住宅にみる日照調整や採光の工夫～

新潟では、厳しい冬の気象条件など、様々な経験を踏まえ、気候風土に適した住まいづくりの工夫がなされてきました。そのような中で、新潟の伝統的な住宅にみる日照調整や採光の工夫がなされている工法などとして、外に梁を張り出し、桁をかけ、深い軒をのせるための「せがい造り」や、縁側の土間を含めて庇をかける「土庇（とびさし）」、「通しの障子欄間」、「格子戸」などがあります。



土庇（とびさし）



通しの障子欄間



「せがい造り」と「格子戸」

■住まい・住環境づくりの取組み

本市は、平野・海岸・河川・潟・山・丘陵地など、多種多様な地形に富んだ市です。各地域には、それぞれの地域の特性に応じた多様な住まい・住環境が形成され、残されています。新潟市の自然条件や地域の歴史・風土に根ざした住まい・住環境づくりの事例について示します。

I. 伝統的な手法・工法を活かした住宅・住環境



① 竹穂垣（くね）で囲んだ住宅



② 水害に備えて高い土盛の上にある倉（水倉）

II. 歴史的な建造物や堀、緑に囲まれた街並み



③ 土蔵や黒塀が特徴的な歴史と格調の小路



④ 板塀と屋敷内の保存樹が茂る街並み

III. 旧街道など地域の歴史・文化を感じる街並み



⑤ 切妻屋根の住宅が並ぶ街並み（旧北国街道）



⑥ 雁木の続く街並み

IV. 地域住民が協力し合っている居住環境の整備



⑦ 緑地協定を導入し、整備された住宅街



⑧ 街なみ環境整備事業で整備している街並み